

～世界の17か国と国際交流～

伊予市国際交流フェア

4月19日、中央公民館で『伊予市国際交流フェア』が行われました。

来場者は、アメリカやドイツ、中国など世界17か国の国際交流ブースを回り、あいさつの言葉を教わったり、一緒にゲームをしたりして外国文化に触れました。また、外国人バンド「ザ・ワタナベズ」のライブも行われ、子どもから大人まで、楽しいひとときを過ごしました。



～(株)伊予銀行地域文化活動助成事業～

(株)伊予銀行から、市内2団体に助成

(株)伊予銀行が地域文化の発展と向上に役立てるための活動(いよぎんCSR)の一環として行う「第33回伊予銀行地域文化活動助成事業」に、市内から伊豫之二名島扶桑太鼓保存会と平沢お供相撲保存会の2団体が承認され、助成金贈呈式が4月22日、(株)伊予銀行本店で行われました。



～勝ち負けではなく、一生懸命するかしないかが大事～ 第25回伊予地区少年剣道錬成大会

4月20日、伊予市市民体育館で『第25回伊予地区少年剣道錬成大会』が行われました。

光武館の片岡美光館長は、「今日は錬成大会、勝ち負けではなく、自分が一生懸命になって試合をするか、しないかが大切。」とあいさつし、少年少女剣士もそれに答えるように一挙手一投足に気合を入れていました。

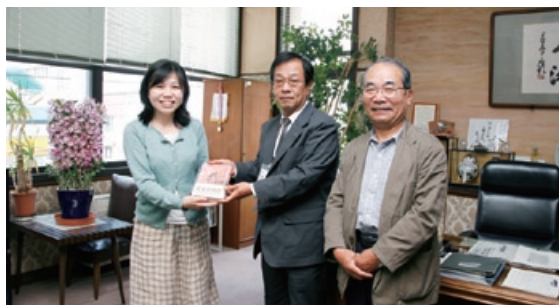


～漁の安全と大漁を願って～

豊漁祭(たたきこみ)

5月5日、伊予漁業協同組合で『豊漁祭(たたきこみ)』が行われました。

海上での安全と大漁を願った神事や太鼓演奏、餅まきが行われた後、大漁旗や船の名前が書かれたのぼりを掲げた漁船が一齐に伊予灘へと出発し、船団を組み、勇壮にパレードをしていました。



～「あの戦争から遠く離れて」～

城戸久枝さん、大宅壮一賞受賞

4月25日、城戸久枝さん(伊予市出身)と父親幹さん(下吾川)が、大宅壮一ノンフィクション賞の受賞の報告に市役所を訪れました。

城戸久枝さんが出版した「あの戦争から遠く離れて 私につながる歴史をたどる旅」の取材力・文章力などが評価され、大宅壮一賞の栄冠に輝きました。



～下三谷工業団地の全区画が分譲されました～
下三谷工業団地、契約調印式

5月15日、ヤマキ株式会社と伊予市土地開発公社との間で、第2期下三谷工業団地の売買契約の調印式が行われました。伊予市土地開発公社が平成15年度に造成した下三谷工業団地(総面積:54,664㎡)のうち、このたび18,814㎡をヤマキ株式会社が取得したことから、下三谷工業団地の全区画が分譲されました。



～高齢者の交通事故ゼロを目指して～
高齢者交通安全アドバイザー

5月12日、庁舎前で伊予市高齢者交通安全アドバイザーの出発式が行われました。出発式の後、アドバイザーは、市内の高齢者宅を直接訪問し、反射材のついたタスキやシールを配ったり、歩行や運転するときに不安に思っていることを丁寧に聞いてアドバイスをしたりと、高齢者一人ひとりに交通安全の意識啓発を行っていました。



～伊予市の夏の始まり～
ビーチバレー5月大会

5月18日、五色姫海浜公園で『HIMEカップビーチバレー5月大会』が開催されました。

今年最初のHIMEカップに参加したのは21チーム。照りつける太陽と真っ白な砂浜の中、選手たちは、一つのボールを追いかけながら、コート中を駆け回っていました。



～地域住民との交流～
開園10周年記念なぎさ祭り

5月18日、伊予なぎさ園で『開園10周年記念なぎさ祭り』が開催され、学生ボランティアの協力で、施設利用者の手づくり製品や、市内高校生による花や食品の販売、おもちつきやお茶席などの催し物が行われました。また、声楽家の森下真弓さんが来園し、観客と共にさわやかな歌声を初夏の青空に響かせました。

～若い人に魅力ある観光地～

伊予灘SA・ふたみシーサイド公園が恋人の聖地に認定

NPO法人地域活性化支援センターが、若い人々に魅力ある観光地づくりの一環として実施している「恋人の聖地」づくりに、伊予市から「松山自動車道伊予灘サービスエリア」と「ふたみシーサイド公園恋人岬」が県内で初めて認定されました。

伊予灘SAは、道後平野や伊予灘が一望できる高台にあり、夕景や夜景を楽しめるロマンチックな場所には「ハートロック」といわれるカップルが永遠の愛を誓い合っ

て鍵をかけるフェンスがあります。ふたみシーサイド公園には、公園のシンボルである恋人岬やカップルが手を置いて願い事をする願い石などがあります。また、ふたみシーサイド公園では、6月29日(日)の14時から、恋人岬を会場に人前結婚式やコンサートなど恋人の聖地認定を記念したイベントを開催します。詳しくは、(有)シーサイドふたみ(☎986-0522)へお問い合わせください。

